

△第百二号議案に対する賛成討論

○小島信昭議長 第百二号議案に対する賛成討論

二十八番 高木真理議員

〔二十八番 高木真理議員登壇〕

◆二十八番（高木真理議員）

民主党・無所属の会の高木です。会派を代表し、第百二号議案について「平成二十三年度埼玉県的一般会計及び特別会計決算の認定について」、賛成の立場から討論いたします。

一般会計において、厳しい財政状況が続き、国庫支出金の減少などの事情もある中、県税収入を中心とした収入の確保に努め、未来への投資、埼玉ブランド力向上、もっと安心・安全な社会の実現、東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応など、今と未来への要請に応える事業に取り組むことができている、賛成です。また、国により臨時財政対策債の発行を余儀なくされている中、県独自でコントロール可能な県債の圧縮に努めた姿勢も評価できます。

このように評価できる平成二十三年度決算であります。以下、今後の執行についての留意点についても述べさせていただきます。

会計処理においては、年度を越えて執行された契約について不適正な事務処理が行われていたことは、今後このようなことが絶対にならないよう、厳しく臨んでいただきたいと思いますと同時に、公会計制度の在り方の検討も必要です。また、納税率は昨年度下げ止まったとはいうものの、九四・四パーセントとリーマンショック前の水準には及んでいません。公平性の確保のためにも、納税率の向上が必要です。

さらに、職員数については、全国一、人口当たりの職員数が少ない自治体として効率化が進められているところでありますが、仕事自体を減らす、仕事の仕方を変革するなどの前提がない中で職員数のみを減らすと、過重労働や業務の質の低下につながりかねません。慎重な対応が必要なことを申し添えます。

加えて、ふるさと創造資金の制度の在り方の検討、地域振興センターの抜本的な見直し、医療従事者確保策の強化、自転車の安全利用に向けた道路環境の整備、県営公園の整備方針の見直し、いじめ防止対策の強化など、各分野にわたって委員会審議の中から出された指摘事項には御留意いただきたいと思います。

今回、委員会審議の中で出された指摘事項のうち、時代に合わせて廃止・縮小すべきといった提案については、所管の皆さんの手では着手しがたい内容もあろうかと思いますが、今後も少子高齢社会となり、厳しい財政状況が続く本県において、事業の優先順位を厳しく見極めていくことは非常に重要なこととなってまいります。知事御出席の委員会でないことが残念でもありますが、よろしく御検討いただきたいと思えます。

以上で、第百二号議案に対する賛成討論を終わります。（拍手起こる）